

会 議 録

会議名称	令和7年度 第1回精神保健福祉専門部会
日 時	令和7年8月6日（水）10:00～11:30
会 場	越谷市役所第三庁舎5階 会議室11
出席者	【出席部会員】 中西部会員、田口部会員、高橋部会員、山根部会員、松浦部会員 須賀部会員、近藤部会員（部会長） 【欠席部会員】 なし 【事務局】 （障害福祉課）高島主査、西口主任 （保健所こころの健康支援室）嶋田主幹 （基幹相談支援センター）高橋氏、久保田氏、川嶋氏、保田氏
配付資料等	【当日配付資料】 ・ 次第 ・ 精神保健福祉専門部会員名簿 ・ 越谷市における「にも包括」事業一覧 ・ にも包括の構築イメージ、事業概要 ・ 他自治体の事業例
会議次第	1 開会 2 自己紹介 3 議事 （1）精神保健福祉専門部会の役割について （2）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について ・ 「にも包括」に対するイメージや概念など ・ 本市における取組み ・ 地域課題 （3）年間スケジュールについて ・ 当事者会や家族会、訪問看護ステーション、高齢介護分野、重層的支援等との連携 ・ 講演会や研修会の開催 ・ 他の専門部会とのコラボ ・ 本市における取組みの「見える化」 ・ 構築支援事業を活用した広域アドバイザーや密着アドバイザーなどの活用

	(4) その他 4 閉会
会議の内容	1 開会 2 自己紹介 各部会員より自己紹介 3 議事 (1) 精神保健福祉専門部会の役割について 部会長から資料に基づき、以下について説明を行った。 ・本部会は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」(以下、「にも包括」)の協議の場であること ・協議の場を活用して、既存の取組みの周知や本市における地域課題の洗い出し、解決に向けた動きなど、精神障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動してゆくこと 【質問、意見等なし】 (2) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について ● 「にも包括」に対するイメージや概念など 「にも包括」に対するイメージや概念について、各部会員より発言があった。 【質問、意見等】 部 会 員：日々取り組んでいる精神障がいのある方への支援はシステムの中のひとつであるという認識。ただ、市民の方にメリットを感じていただけるような形にまではまだ至っていないのではないか 部 会 員：精神障がいがある方も地域で暮らす生活者なので、改めて分けて論じることには違和感を覚える 部 会 員：聞いたことはあるが実際どのようなものなのかまでは把握しきれていない 部 会 員：既に行っている取組みはあるものの、それが個々の活動に留まり認知されていない 部 会 員：システムが整えば、当事者や支援者、医療や行政のみんなにとって良いと思う。委託されている障害福祉業務がやり切れていない反省はある

部 会 員：医療と介護の連携窓口でも、精神障がいとは別枠、といった印象。枠組みを作り過ぎなのでは。包括的な関わりがスムーズになるよう、身体科の領域の方たちに精神障がいを理解してもらう働きかけが必要なのでは

部 会 員：どこに相談しても同じような形でつながり、サービスを受けられる、解決に向かうものになれば。現状はどこに相談すればいいのかが見えにくい

部 会 員：当事者の方が孤立しない、気軽に相談できる、誰かが気に掛ける体制づくりができれば良いと思う

●本市における取組み

基幹相談支援センターより、ピア活動についての報告（余暇活動や地域移行に関するピアカウンセリングイベントの開催など）があった。

保健所こころの健康支援室より、越谷市医療観察制度地域連絡会、管内精神科病院連絡会、相談窓口の周知、医師による専門相談、精神保健事例検討会、ひきこもり相談支援事業、自殺対策推進事業、家族教室・専門相談、こころの医療機関マップの作成など、説明があった。

【質問、意見等なし】

●地域課題について

【質問、意見等】

地域課題について、各部会員より発言があった。

部 会 員：支援者がまず「にも包括」を学ぶ必要性

部 会 員：地域活動支援センターやグループホームなどの受け皿が少なくなってきた、制度改正により居場所だったところが失われる懸念

部 会 員：サービスにつなげない、行き場のない精神障がいのある方が地域に埋もれている

部 会 員：児童の入院が増加傾向にある。家族支援・家族教育の必要性

部 会 員：不登校や児童の自殺なども増えてきており、教育現場も困っている

部 会 員：8050やそれ以上に高齢化しているのに、どこにもつながれていない方たちへのアプローチ

部 会 員：住まいの確保・居住支援

部 会 員：現状行っている取組みの周知

部 会 員：ひきこもり相談支援事業に参加できない、外に出られない方へのアプローチ

部 会 員：高齢者の地域包括ケアシステムとの兼ね合い

部 会 員：相談窓口の見える化

(3) 年間スケジュールについて

部会長及び部会員から、以下の意見等があった。

- ・ 次回は当事者会や家族会、訪問看護ステーション、高齢介護分野・重層的支援分野の所管課の参加を打診。教育や保育の分野にも参画してもらってはどうか
- ・ 第3回は「にも包括」の講演会や勉強会を企画したい
- ・ 「にも包括」構築支援事業による広域アドバイザーや密着アドバイザー活用の検討したい

(4) その他

4 閉会